

WORK



ブイエス エックスブイ

VS XV

SPEC

18inch	7.0J~14.5J	7万2000円~8万9000円
19inch	7.5J~15.5J	8万7500円~11万3500円
20inch	7.5J~15.0J	9万7500円~12万2000円
21inch	8.0J~12.0J	11万4000円~12万8000円

ワーク

tel.06-6746-2859(西日本)
tel.052-777-4512(中日本)
tel.048-688-7555(東日本)
<https://www.work-wheels.co.jp>

差別化も図れる現代風クラシカルメッシュ

ワークの新作ホイールと、ドゥの最新デモカーをマリアージュさせたら……。マッチングやおすすめの履き方、サイズについて、ワークの吉川さんと、ドゥの田部井さんのふたりに話を聞いた。

文 幸谷 亮 Ryo Kouya 写真 木下 誠 Makoto Kishita / 幸田 太郎 Taro Koda



WORK VS XV

軽快かつ立体感のあるデザインが
最旬のスタイルにも絶妙にマッチ

クラシカルな15交点メッシュながら、細めにデザインされたスポークや立体的な造形により、最旬のスタイルにもびったりハマる。



マットダークガンメタ



ブリアントシルバーブラック



シルキーリッチシルバー

V-IP全盛期から根強い人気を誇り、今なお多くのファンを持つワークのVSシリーズ。そんなVSシリーズから2021年のニューモデルがリリースされた。その名もXV（エックスファイブ）。全体的には15交点メッシュを採用したクラシカルな印象だが、極限まで細くしたスポークやラウンドディスクにより、現代風の雰囲気も感じられるモデルとなっている。

まずは、車輛の製作を手掛けたドウの田部井サンに、XVの第一印象について聞いてみた。「最近ではスポーティなホイールが多かったのですが、ここに来て遂に王道が登場したな。とはいえ、王道の中でも軽快かつ立体感のあるデザインにすることで、差別化もできるホイールだと思ひ、即決でデモカーに装着させていただきました。差別化もできる現代風クラシカルメッシュホイール。これこそがXV最大の特徴。ドウの最新デモカーである210クラウンとの相性も間違いなくばっちりだ。

「どんな国産セダンにもハマるホイールです。このデモカーは220顔にフェイスワップしてありますが、210クラウンのような最近のクルマはもちろんだとえば13クラウンや31シマのような型式の古いクルマにも似合うはず。」「気になるカラーは3色を設定。なかでもおススメは、デモカーにも履かせているシルキーリッチシルバー。ワークの吉川サンいわく、「発色の良いシルバーを採用しています。とはいえ、メッキほどキラキラ感はないので、淡い系のボディと合わせたら、自然と大人感のある足を演出できます。このデモカーのようにピアスホルトをオプションのゴールドにするより映えるので、さらなる差別化にも最適です。一方、スポーティなスタイルにはマッドダークガンメタがおススメ。赤みを帯びたガンメタなので、スポーティな雰囲気をまとうます。」

田部井サンがこう付け加える。「マッドダークガンメタには、ブラックなどのダーク系にハマりますね。同時にゴールドやオレンジ系など、明るめのアクセントを入れたらより映えると思います。」サイズは18〜21インチをラインナップ。デモカーには20インチのF9・R10Jをセットする。「あとは、足まわりをドウの車高調に変えているだけ。アームもフェンダーも純正キープで、普段乗りをイメージしたスタイリングです。ホイールと足まわりを変えるだけで、これだけ優越感に浸れるスタイルをつくることができます。」

DUEX × 210CROWN

装着されているエアロはドウのガリエール。ほぼボン付けするだけで、220クラウン顔にチェンジできる逸品。「濃紺のボディに発色の良いシルバーがすごく似合いますね」と吉川サン。



交点数の多いメッシュホイールながら、ラウンドデザインディスクにより、現代風にアレンジされた。



センターキャップはブラックのほか、レッドベースも用意する。デモカーはレッドベースを装着。



軽快感のあるスポーク。天面の細さはワークの数あるホイールの中でも1位、2位を争うほど。



センターパートに向かって急激に落ち込むデザインにすることで、立体感も十分に味わえる。

